

令和3年度 第3回 学校運営協議会 議事録

日時：令和4年2月18日（金） 15：30～17：00

場所：校長室

出席者： 友谷委員、西田委員、速水委員、西川委員、川上委員、笹井委員
佐々木校長、坂口教頭、轟事務長、村上首席、住友指導教諭、
南進路指導部長、永野首席

1. 会長挨拶、校長挨拶
2. 配布資料確認（坂口教頭）
3. 令和3年度 学校経営計画及び学校評価について（佐々木校長より説明）
 - ・ めざす学校像は頻繁に更新するものではないので例年通りに設定している。
 - ・ 本年度の取り組み内容と自己評価について
 - 生徒がどれだけ伸びるかをベースに考えている
 - 新教育課程の編成について
 - ◇ 新学習指導要領に対応したシラバスの作成、観点別学習評価に対応した教務内規の作成を行った
 - 確かな学力の育成
 - ◇ BTによって家庭での学習の習慣がついている、平日の家庭学習時間が0分の生徒の割合が10%から8%に減少した、更に家庭学習を行う生徒が増えるように努力していく。
 - ◇ 図書館の利用については3800人をめざす、自習室を設けたこともあり、昼休み等に自習の場所として図書館を利用する生徒は減少した。
 - ◇ SDGsについては、生徒が自身で実践できるように様々な知識を学習した。
 - ◇ 1人1台端末の活用の取り組みについては今年度進歩させることができたと考えている。臨時休業中に速やかにオンライン授業を行い、オンラインでの課題の配信や課題の回収も行うことができた。
 - 授業力の向上
 - ◇ 授業アンケートの結果より、ICT機器の活用は進んだと考えている。
 - ◇ 思考力を重視した授業の展開については、グループ学習を行いにくい状況もあり、十分に進めることはできなかった。今後生徒たちにとって必要になってくる力であるので、工夫をっしたい。
 - ◇ 10年目研修対象教員による研究授業を含めて、研究授業を年10回以上行うことができた。
 - ◇ 英検についてはコロナ禍の中で校内実施を行っていない。来年度以降は中期的目標から英検関連の項目を削除しようと考えている。

- 3年間を見通したキャリア教育
 - ◇ 国公立大学、難関私立大学の入試結果について現在集計中、今日現在では昨年度並みの結果であるととらえている。
 - ◇ 大学進学対策講習は体系的に行うことが出来ている。今後も継続していく。
 - ◇ グローバル人材の育成
 - 新型コロナウイルスの影響もあり国際交流を行いにくい状況が続いている
 - 希望によるメール交流を通年で行った
 - やはり、直に触れ合える場を確保することは大事だと考えているので、そのような機会の確保をめざす。
- 豊かでたくましい人間性のはぐくみ
 - ◇ 部活動加入率は 85.4%で目標には到達できなかった、新型コロナウイルスの影響で4月当初の体験入部期間が十分に活用されなかった影響であると考え。特に、部活動を高校でも続けようか悩んでいた生徒の取り込みが出来なかった。
 - ◇ 修学旅行に関するアンケートでは 97%が良かったと回答した。修学旅行を実施することができたことがなによりも良かった。
 - ◇ 体育祭は競技を実施せず。秋以降に全学年でミニ運動会として競技を実施した。
 - ◇ 文化祭は3年は有志参加。食品の取り扱い禁止等の制限事項もあった。
 - ◇ 遅刻指導について、今年度、遅刻数は減少した、特に1年生はよく努力してくれた。
 - ◇ 教員の生活指導に対する生徒の納得感について
 - 今年度大きく減少した
 - 生徒会が「校則を見直す」というマニフェストを掲げており、生徒が校則に目を向けやすくなった影響が考えられる。
 - 生徒の自治意識を高める要因になっていることはむしろ歓迎すべきことである。
 - ◇ 校内美化について、本校は事務の協力もあり非常に清掃が行き届いている。
- 学校組織直向上と開かれた学校作り
 - ◇ 教職員の一齐退庁日については徹底できなかった。教員の業務について精査しスクラップ&ビルドを行っていく必要がある。
 - ◇ ホームページのタイムリーな更新を実施することができた。
 - ◇ 小学生対象の科学入門講座、中学生対象の「楽しいスポーツ芸術講座」はここ2年間実施することができていない。
- その他
 - ◇ メールマガジンや Google Classroom の活用により、生徒、保護者に対して迅速な連絡を行うことができた。
 - ◇ 臨時休業の際にオンライン授業をスムーズに行う環境が整備された。
 - ◇ 進路指導室を図書館棟から本館に移設し、生徒が進路の情報を手に入れやすくなった。
 - ◇ 進路指導室の前に進路資料室と自習室を設置した。新しい進路指導室、進路資料室、自習室の設置に際し、さまざまな支援をいただいたことに感謝している。

補足（南進路指導部長より）

- ▶ 生徒が希望する進路の実現と、生徒の進路の幅を広げるということを目的にしている。
- ▶ 進路指導室と進路資料室を移設したことにより、生徒が進路情報を手に入れやすい環境ができた。
- ▶ 36期生の大学入試状況の報告
 - ◇ 今年度より、関西学院大学から指定校推薦の枠をいただいた。
 - ◇ 公募推薦の結果はほぼ例年通りであった。
 - ◇ 一般入試の結果については現在集計中であるが、現時点では例年通りの数で推移している。ただし、クラス数が減少していることを考慮すると、例年通りの数字がでていることは健闘したといえる。
 - ◇ 希望する進路の実現に向けて、生徒はよく努力してくれていると言える。

補足（住友指導教諭より）

図書館の利用状況について補足する。今年度118冊の本を購入した、府費が削減されたことによりすべてPTA予算で購入していただいた。赤本の購入も行った。

- ▶ 今年度、窓側の棚の蔵書点検を行った、不明本は0冊であった。
- ▶ クラス数は減少しているが利用数は増加している。
- ▶ 図書館を授業で利用している講座が1つあり、講習等でも図書館を利用した。
- ▶ 昼休みの図書館利用者数は減少した、これは本館に自習室が設置されたことが影響していると考えている。
- ▶ 保護者による図書館見学は、懇談期間中の授業公開週間に行うことができると考えている。
- ▶ 新型コロナウイルス感染症が落ち着いたら、生徒を引率しての図書選定を行いたいと考えている。

（質疑応答）

委員：今年度の大学入試合格者数について、特定の大学の合格者数が大幅増加しているが、何か要因があるのか？

事務局：少数の生徒が、同大学の多数の学部・学科に出願し合格したため合格者延べ数が大幅に増加する結果となった、実数としては例年通りである。

委員：関西大学の合格者数は減少しているが、何か要因はあるのか？

事務局：関西大学の指定校推薦で出願を希望する生徒がいない学科があった、その人数分減少した、ただし、一般入試の合格者延べ数は73（昨年度71）であり、合格者数が減少したとは考えていない。

事務局：大学入試共通テストの受験者数は大幅な変化はなかった、ただし、今年度の大学入試共通テストが難化したことにより、生徒は思うように点数をとることができなかった、国公立大学の合格者数は減少する可能性がある。

委員：図書館に本を寄贈することは可能か？

事務局：本の寄贈を受け付けることはできる

委員：捨ててしまうような本がある場合、学校に寄贈することができるということをPRしてはどう

か？

事務局：寄贈は大変にありがたいので検討したい。

委員：同窓会としても書籍関係の寄付に対して予算をつけることを検討してみる。

委員：英検資格取得者数に関する目標を中期的目標から削除するとのことであるが、資格取得は外部からみてわかりやすい目標であるように思える、今後どのように考えているのか？

事務局：資格を取得したことを指標にするのではなく、英語の力をつけるというところで生徒には指導をしたいと考えている。現在、教員は非常に多忙を極めている。業務量の精査を行いスクラップ&ビルドを測る必要がある。英語に関しては3年次の「総合的な探究の時間」にも英作文指導を行っていることもあり、中期的目標から英検を削除することとした。

事務局：新型コロナウイルスが流行する前は、本校を会場として英検を行い、資格試験に向けて対策等も行ってきたが、新型コロナウイルスの流行によりそれも困難になった。

委員：オンライン授業を実施したとのことであるが、時間割についてはどのようにしているのか？

事務局：1限目～6限目まで通常の授業と同じ時間割でオンライン授業を行った。ただし、生徒への負担を考え、最初の20分程度を教員による講義、残りの30分程度を演習時間とした。オンラインで課題の配信、回収も行っている。また、コンピューターの扱いに不慣れな教員でもオンライン授業配信が行えるような工夫もしている。

委員：小学校の低学年ではオンライン授業を複数時間行うことは大変難しい、高校生との違いを感じる。

委員：芸術や体育などの実技科目のオンライン授業はどのように行っているのか？

事務局：実技教科についてはオンライン授業を行っていないが課題は提示している。

事務局：実技は行っていないが、長距離走のランニングプランを立てるという課題を出し、生徒に提出させた。

事務局：今後はスタディサプリを利用した生徒の自学自習のサポートも行っていきたい

委員：学校全体の休業でなく、個人が欠席している場合もオンライン授業を行ったのか？

事務局：個人の欠席に対しても、希望する生徒にはオンライン授業の配信を行っている

委員：今年度図書館で購入した書籍の予算はすべてPTAからの予算でまかなったとのことであるが、今後のことも考えると府費からも書籍購入の予算を立てるべきではないか

事務局：今年度はコロナ関連予算の関係で、書籍購入のための府費予算が0であった、例年であれば府費からも書籍購入のための予算を立てている。

4. 令和3年度教育自己診断について（坂口教頭より）

- 生徒、保護者、教員から回収したアンケート結果をもとに各分掌・学年で結果の分析を行った。
- 全般的に本校の満足度は高いと考えている。
- 今年度、「1人1台端末の活用状況」「新型コロナウイルス対策」「HPの内容について」の質問項目を設けた。
- 昼休みに黙食指導を教員全体で協力して行っているため、学校の新型コロナウイルス対策に関する指導は安心できるという結果になった。
- 学校生活の指導に対する不満については、生徒会執行部を中心に教員、生徒で議論を行っている。
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、保護者が学校に来る機会が減少した、その結果、

学校が生徒に対して行っている指導について保護者に伝わりにくい状況がある。

- ▶ 教職員のアンケート回答率はさらに改善する必要があると考えている。
- ▶ 職員会議はペーパーレスで行うようにした。事前に資料をクラウド上にアップロードしておき、教員が会議前に資料に目を通すことで、会議の効率化と意思統一をはかるようにしている。
- ▶ 保護者アンケートの記述部分については、記述の意図を正確に把握し、正確な返答を行うために来年度以降記名のみとする。

(質疑応答)

委員：生徒アンケートについて、「他の先生が授業見学にくるか」の項目と、「先生に相談しやすいか」の項目に×がついている。学校経営計画ではスクラップ&ビルドの話が出てきたが、この部分については大事にしてほしい。

事務局：教員が他の教員の授業を見学する機会を確保することは大事であると考えている。

事務局：年間3回、授業見学 Day を設けている、これは午後の授業をカットすることで教員が他の教員の授業を見学する時間を確保するために設定した。これにより授業を見学しやすい環境を作っている、来年度も継続したいと考えている。

委員：問題解決型の授業を行うことはやはり難しいか？

事務局：グループワーク等を行うことが難しい状況にあることは影響していると考えている。今後、さらにこの部分については検討発展させていく必要がある。

5. 令和4年度 学校経営計画案について（佐々木校長より）

- ▶ スクラップ&ビルドを中心に考えている
 - ◇ ICTの導入が即業務量の改善につながるわけではない。
- ▶ 中期的目標について
 - ◇ ICTの活用については、今後も継続していくが計画案では1カ所にまとめて記述するようにした。
 - ◇ 英検についての目標は削除した。
 - ◇ 国公立、関関同立の目標合格者数を160名とまとめて記述するようにした。
 - ◇ 1年の進路校外学習については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で大学側の受け入れが難しい状況にあることも考慮して、目標から削除した。
 - ◇ 生徒が自治意識を高めることを目標の1つとして設定した。
 - ◇ 生徒指導については、現在でも十分に行っていると考えているので「さらに強化する」は削除した。
 - ◇ 地域連携については深めていきたいと考えているが、科学講座、スポーツデーについてはここ2年間実施できていないこともあり、削除した。
 - ◇ 学習支援クラウドサービスを活用することで生徒の自学自習をサポートしたい。

6. 諸連絡

- 保護者からの意見書
提出なし
- 連絡事項
 - ◇ 議事録は委員の皆さんに確認いただいた後、ホームページで公開する。
 - ◇ 次年度も引き続き委員をお願いしたい。

7. 校長謝辞